

みずほCustomer Desk Report 2024/02/01 号 (As of 2024/01/31)

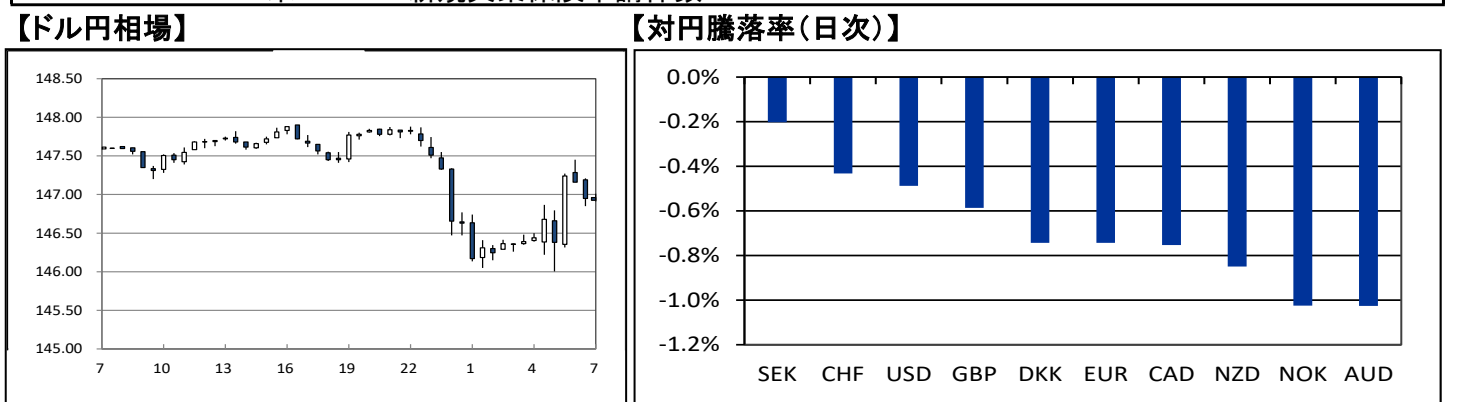
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.55
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.34	1.0846	159.77	1.2697	0.6595
SYD-NY High	147.90	1.0887	160.27	1.2750	0.6622
SYD-NY Low	146.01	1.0795	158.51	1.2658	0.6552
NY 5:00 PM	146.93	1.0819	158.97	1.2688	0.6568
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,150.30	▲ 317.01	日本2年債	0.0900%	0.0400%
NASDAQ	15,164.01	▲ 345.89	日本10年債	0.7300%	0.0200%
S&P	4,845.65	▲ 79.32	米国2年債	4.2067%	▲0.1309%
日経平均	36,286.71	220.85	米国5年債	3.8380%	▲0.1343%
TOPIX	2,551.10	24.17	米国10年債	3.9171%	▲0.1177%
シカゴ日経先物	35,905.00	▲ 55.00	独10年債	2.1595%	▲0.1125%
ロンドンFT	7,630.57	▲ 35.74	英10年債	3.7935%	▲0.1040%
DAX	16,903.76	▲ 68.58	豪10年債	4.0740%	▲0.0870%
ハンセン指数	15,485.07	▲ 218.38	USDJPY 1M Vol	8.84%	0.43%
上海総合	2,788.55	▲ 41.98	USDJPY 3M Vol	9.61%	0.18%
NY金	2,067.40	16.50	USDJPY 6M Vol	9.55%	0.17%
WTI	75.85	▲ 1.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	272.41	▲ 1.59	EURJPY 3M Vol	9.37%	0.34%
ドルインデックス	103.27	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	9.51%	0.26%

東京	東京時間のドル円は147.34レベルでオープン。朝方公表された1月金融政策決定会合の主な意見における「マイナス金利解除を含めた政策修正の要件は満たされつつある」などの効派的な意見を背景に147.20まで下落。一巡後は実需のドル買いにも支えられて147円台後半まで値を戻し、結局147.81レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.81レベルでオープン。米FOMCや米財務省の米国債定例入札のイベント待ちの中で全般に方向感のない推移。日銀のヘッドラインを受けて立ち上がり147.41まで売られるが、程なく切り返すと、ほぼ変わらずの147.79レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台半ばでスタート。日銀1月金融政策決定会合の「主な意見」が発表され、「物価目標の実現の確からしさ、具体的な経済指標で見極めていく段階に入った」等とマイナス金利解除のタイミングを見極めていいると思わせる文言から、147.20まで下落。しかし、その後豪州第4四半期CPIが予想を下回り、豪ドルが対ドルで売られた事や、実需の買いが入り147.90まで反発。その後はFOMCの結果発表を控え様子見姿勢が強くなり、147.79レベルでNYオープン。朝方に発表された米四半期定例入札は今後の四半期は増額をも見込んでいない事や、米1月ADP雇用統計と米第4四半期雇用コスト指数が予想を下回り、146.05まで続落。その後は下げ渋り、146.80付近まで戻す。午後は米1月FOMCの結果が発表され、政策金利を現状の5.25%-5.50%で据え置いた。その後行われたパウエル議長の記者会見の冒頭では、「政策金利はピークに達している公算」等とハ派の発言が先行し、146.01まで売られる。しかし、記者会見の終盤でパウエル議長の「3月の利下げの可能性が高いとは思っていない」との発言を受け、147.45まで買い戻される等激しい値動きが見られた。その後は買い一巡となり、146.93レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.08台半ばでスタート。米FOMCの結果待ちムードから、1.0820付近を中心とした推移が続き、1.0837レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きを横目に、1.0887まで上昇。しかし、その後は欧州株安が重しとなり、1.0840付近まで反落。午後はFOMCの結果とパウエル議長の発言を受け、終盤に米金利が上昇する展開が一段重しとなり、1.0819レベルでクロス。

【昨日の指標等】				結果	予想
Date	Time	Event			
1月31日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	政策修正の要件は満たされつつある	
	08:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月	1.8%/-0.7%
	09:30	豪	CPI(前期比/前年比)	4Q	0.6%/4.1%
	10:30	中	製造業/非製造業PMI	1月	49.2/50.7
	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	1月	-0.2%/3.1%
	22:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	1月	0.2%/2.9%
	22:15	米	ADP雇用統計	1月	107k
2月1日	04:00	米	FOMC政策金利(上限)	31-Jan	5.50%
	04:00	米	FOMC政策金利(下限)	31-Jan	5.25%
	04:30	米	パウエルFRB議長 会見	「3月利下げは最も可能性の高いケースではないだろう」	

【本日の予定】				予想	前回
Date	Time	Event			
2月1日	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	1月	50.8
	19:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	1月	-0.4%/2.7%
	19:00	欧	失業率	12月	6.4%
	20:30	欧	レーン・ECB理事 講演	-	-
	22:30	米	新規失業保険申請件数	27-Jan	212k



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.30-147.30	1.0770-1.0870	158.50-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場では米雇用関連指標の悪化による米長期金利の低下につれて、ドル円相場は146円近辺まで下落。米FOMCでは、市場の過度な利下げ期待を牽制する声明及びパウエル議長の会見により、ドル円相場は147円台半ばまで買い戻された。ただその後は軟化し147円挟みでの引けとなった。焦点は金曜日の米雇用統計に移る。FOMCでは3月の早期利下げを牽制する形となったが、次の一手は利下げということに変更はなく、雇用統計を手掛かりに利下げの時期を模索する展開が続く。一方、昨日の日銀の主な意見からも本邦金融政策の次の一手は利上げと目され、日米金利差縮小のタイミングを見定める展開は続くだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 野田・岩下